



東京スタジアム 懐古

早川隆さん

東京スタジアム、皆さんの思い出はいかがでしょうか。

東京スタジアムの建設工事に関わった南千住5丁目(南)早川タイル張り工事 取締役

早川隆さんの手記です。

久しぶりに元東京スタジアムの写真を見て自分の若い頃を思い出しました。

只今の荒川総合スポーツセンターや区民野球場、南千住警察署の在る所は60年以上前には軍隊の被服を作る軍需工場跡地で赤レンガ積の高い塀に囲まれた場所でした。

其の場所に【大映】映画の永田ラッパ社長(大きな事ばかり云うのでラッパは仇名)が大毎オリオンズのホームグラウンドを造ると云う事に成ったので地元南千住一帯は活気に満ちて、街の話題はスタジアムの落成を心待ちに。

当時、私は24歳位で千住間道の道路拡張に拠る区画整理で木造2階建新築の一般住宅の浴室、キッチン、トイレ、玄関等のタイル工事を営んでいました。

職人を使って親方風であったのは、父親がタイル屋だったので、長い病気の末38歳で他界したので已む無く親方を張る様になって仕舞いました。

跡地の赤レンガ積みの解体が始まり本職のレンガ職人が何萬本も在る解体されたレンガをケレン清掃しました。趣きのある古レンガとして其の頃 喫茶店ブームだった

銀座、新宿等の外壁、内壁、床等に多量に古レンガが使われていました。自分たちも古レンガ化粧積みとか云って何箇所現場を手伝った覚えが在ります。手伝い仕事でタイル職人の大先輩連に「アンちゃん」町場の一般住宅の仕事も良いが大手ゼネコン施行の仕事も熟(こな)していかねければ一端の親方」と教えられて、当時「外務省」の新築工事を竹中工務店(ビッグゼネコン)が施工している現場に連れて行かれて仕事をしました。規模の大きさと工事の進め方段取り等、大変色々勉強させて頂きました。

其の様な体験をした事があつてかタイル貼り業界の大御所親方の誘いで「只今解体中の場所にプロ野球場が出来るが、早川君お前さんの近くなので勉強に成ると思うのでタイル工事全般の世話役をやってみないか」と云われた時はビックリして大仕事なので考え込んで仕舞いました。

それを察してか、「この現場を仕上げれば、その頃欲しかった車を買う位儲かるよ」と煽られ仕事を引受けてしまいました。

結果的には最終車一台分以上の大赤字でした。大仕事に慣れていない為の勉強代だと思えました。

此の球場の仕事は事前に早川にやらせようと決めて掛かっていた様子を知りました。

スタジアムの工事元請は又もや竹中工務店で、昭和37年4月頃スタジアムの形が出来始めた時、現場内にタイル屋の詰め所を備え、午後3時の打合せ会議等に参加していました。

コンクリート段々と打ち上がってきて左官がタイル下地をどんどん施工した後からタイルを張って行く工程になっていました。大手の

左官が30人位で作業している訳でタイル屋は自分と弟と町屋在住の職人と3人なので毎夜10時頃迄の残業は当たり前でした。親方が応援の職人を入れると云ってくれましたが、体に厳しい職場なので2日目には撤退されてしまいました。

最終段階のグラウンド下の地下ボーリング場の頃には徹夜を6日間、仮眠は1日3時間位ととても辛い現場でした。スタジアムの突貫工事を遣り遂げた甲斐が在るか、他の仲間からの紹介で田園調布の歌手の五木ひろし邸の新築工事や間を置いて成城の石原裕次郎邸のタイル工事を手掛ける様に成りました。

自分の記憶ではスタジアムは映画の衰退と共に10年足らずで解体されました。

○ 球場開催中は新聞屋さんからのタダ入場券で3階の外野席で夏はとても涼しい夕涼みが出来ました。地下のボーリング場はブームで大盛況3時間待ちは当たり前でした。

○ 仲通り商店街はナイターの客が沢山通って飲み物、食べ物、菓子等沢山売れて賑わいがありました。

○ 大毎オリオンズは人気が無く試合時は閑散としていましたが、巨人戦のカードが組まれると球場が小さい為超満員と成りました。

○ スタジアムが廃止に成る2〜3年前頃はグラウンドの一部を冬期アイススケート場にしていました。



S 37.4月 本人24歳 東京スタジアム